

「1950 年代教育史」研究部会（第 33 回）

日時：2019 年 2 月 22 日（金）13:00～15:30

場所：野間教育研究所 閲覧室

出席：米田俊彦・大島宏・須田将司・鳥居和代・西山伸 各兼任研究員

吉久知延所長・金沢千秋・川上智子

内容：（１）西山伸研究員報告：1950 年代における大学管理をめぐって（４）

◆国立大学管理法案

- ・ 前回報告の〈全国大学教授連合〉について（京都大学所蔵の史料綴より）
1946 年設置（発足時は大学教授協会）、1947 年全国組織へ
大学管理法案に対しては改良主義（断固反対ではなかった）
- ・ 大学新聞（『東京大学学生新聞』『学園新聞』『東京教育大学新聞』他）に掲載された関係記事を確認した結果
大学法試案要綱：基本的には反対全国大学教授連合は、法案に反対する勢力（大学法対策全国協議会）と連携関係ではなかった
大学新聞は試案に対して当初は好意的だったが、第二次試案公表、公聴会の進行とともに批判的論調が主となっていった

（２）米田俊彦研究員報告：「勤評神奈川方式」をめぐる教育委員会の動向（１）

◆「勤評神奈川方式」の成立過程

- ・ 第 1 期 1958 年 4 月～12 月（第一次「神奈川方式」成立）
自民党も県教委も勤評恐慌実施の姿勢を露骨には見せていない
教育委員長も教育長も話し合い路線
勤評以外の問題（道德教育、校長管理職手当、官製研修拒否）には組合は強硬
「勤評神奈川方式」の原案的アイデアは齋藤金弥（教育長→教育委員）
- ・ 第一次「神奈川方式」成立過程の年表作成
『教職員の勤評問題と「神奈川方式」』所収の年表に『神奈川新聞』『神奈川県教育委員会会議録』『神奈川県議会史 続編』の記載を加えた

・ 次回研究会は、2019 年 3 月 26 日（火）13:00～。須田研究員、鳥居研究員

・ 次回以降は、2019 年 4 月 19 日（金）13:00～。5 月 24 日（金）13:00～